

# 野村エマージング・ソブリン 円投資型1110

## 運用報告書(全体版)

第31期（決算日2019年7月24日） 第32期（決算日2019年10月24日）

作成対象期間（2019年4月25日～2019年10月24日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／債券	
信託期間	2011年10月26日から2022年10月24日までです。	
運用方針	野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行うことを基本とします。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。為替ヘッジはマザーファンドにおいて行うため、原則として行いません。	
主な投資対象	野村エマージング・ソブリン 円投資型1110	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村エマージング・ソブリン 円投資型1110	株式への直接投資は行いません。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に原則として経費控除後の利子・配当等収益と売買益から、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額				受 益 者 利	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	元 残 存 本 率
		税 分	込 配	み 金	期 騰 落				
(設定日)	円		円		円	%		%	%
2011年10月26日	10,000		—		—	—		—	100.0
1期(2012年1月24日)	9,977		75		52	0.5		2.1	99.5
2期(2012年4月24日)	10,289		75		387	3.9		8.8	87.5
3期(2012年7月24日)	10,572		75		358	3.5		10.7	74.2
4期(2012年10月24日)	10,776		75		279	2.6		10.8	66.2
5期(2013年1月24日)	10,749		75		48	0.4		9.0	53.4
6期(2013年4月24日)	10,688		75		14	0.1		7.6	45.4
7期(2013年7月24日)	10,063		60		△565	△5.3		3.3	40.9
8期(2013年10月24日)	10,065		60		62	0.6		3.2	38.3
9期(2014年1月24日)	9,791		60		△214	△2.1		1.9	36.3
10期(2014年4月24日)	9,973		60		242	2.5		2.7	33.9
11期(2014年7月24日)	10,157		60		244	2.4		3.3	32.2
12期(2014年10月24日)	10,151		60		54	0.5		3.2	31.0
13期(2015年1月26日)	10,207		60		116	1.1		3.3	27.3
14期(2015年4月24日)	10,236		60		89	0.9		3.3	24.8
15期(2015年7月24日)	9,992		60		△184	△1.8		2.6	23.7
16期(2015年10月26日)	9,973		60		41	0.4		2.6	22.3
17期(2016年1月25日)	9,644		60		△269	△2.7		1.8	20.4
18期(2016年4月25日)	10,083		60		499	5.2		2.8	19.2
19期(2016年7月25日)	10,301		60		278	2.8		3.2	18.0
20期(2016年10月24日)	10,254		60		13	0.1		3.1	17.1
21期(2017年1月24日)	9,866		60		△328	△3.2		2.3	15.9
22期(2017年4月24日)	10,005		60		199	2.0		2.6	15.3
23期(2017年7月24日)	10,079		60		134	1.3		2.7	14.8
24期(2017年10月24日)	10,065		60		46	0.5		2.7	14.5
25期(2018年1月24日)	9,918		60		△87	△0.9		2.4	13.7
26期(2018年4月24日)	9,624		60		△234	△2.4		2.0	13.5
27期(2018年7月24日)	9,464		60		△100	△1.0		1.7	13.1
28期(2018年10月24日)	9,125		60		△279	△2.9		1.3	12.7
29期(2019年1月24日)	9,194		60		129	1.4		1.4	12.4
30期(2019年4月24日)	9,309		60		175	1.9		1.6	12.0
31期(2019年7月24日)	9,518		60		269	2.9		1.9	11.5
32期(2019年10月24日)	9,540		60		82	0.9		1.9	11.0

\*基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			円	%		
第31期	(期 首) 2019年4月24日	9,309	—	—	97.5	—
	4月末	9,317	0.1	—	97.6	—
	5月末	9,387	0.8	—	97.7	—
	6月末	9,550	2.6	—	97.4	—
	(期 末) 2019年7月24日	9,578	2.9	—	97.1	—
第32期	(期 首) 2019年7月24日	9,518	—	—	97.1	—
	7月末	9,489	△0.3	—	97.6	—
	8月末	9,693	1.8	—	97.1	—
	9月末	9,586	0.7	—	98.8	—
	(期 末) 2019年10月24日	9,600	0.9	—	98.7	—

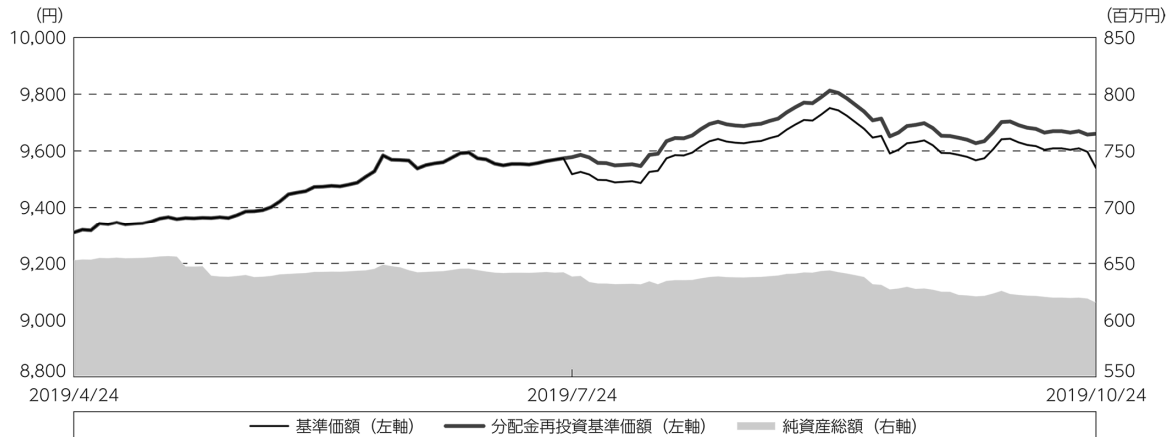
\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○作成期間中の基準価額等の推移



第31期首：9,309円

第32期末：9,540円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：3.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2019年4月24日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

\* 基準価額は、3.8%の上昇(分配金を決算日に再投資したと仮定して計算。)

基準価額は、第31期期首の9,309円から第32期期末9,540円(分配後)となりました。第31期および第32期に分配金をそれぞれ60円お支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は351円となりました。

(上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン(利息収入)。

(上昇) 保有していた債券の値上がり(キャピタルゲイン)。

## ○投資環境

当作成期を通じて、米国10年債金利は低下しました。

米国の一部経済指標に悪化が見られたことや、FRB（米連邦準備制度理事会）議長の発言などを受けて、将来の利上げ観測が後退しました。その後、2019年7月と9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で利下げが決定されたことや、米中貿易摩擦による懸念が拡大したことなどから当作成期を通しての金利は低下しました。

投資国における米ドル建て国債市場全体の対米国債スプレッド（利回り格差）は縮小しました。

ブラジルでは、年金支給年齢の引き上げを柱とした年金改革法案が8月に連邦議会下院を通過するなど、財政健全化に向けた政策が前進しました。このような環境下、ブラジルの対米国債スプレッドは縮小しました。

メキシコでは、経営不振が続いている国営石油会社に対する政府の支援策が、同国の財政状況に大きな影響を及ぼすとして、6月に大手格付機関が同国の信用格付けを引き下げました。このような環境下、メキシコの対米国債スプレッドは拡大しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### [野村エマージング・ソブリン 円投資型1110]

作成期を通じて [野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド] 受益証券の組入比率を高位に維持しました。

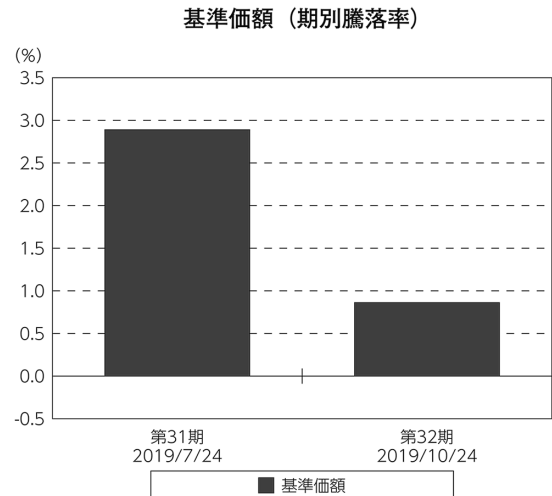
### [野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド]

信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8カ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。当作成期首から期末において、ブラジル、インドネシア、ポーランド、ハンガリー、南アフリカ、メキシコ、フィリピン、コロンビアに投資を行いました。ポートフォリオのデュレーションは4～6年程度を維持しました。また、外貨建資産については、対円をヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ◎分配金

分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から次の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

	第31期	第32期
1口当たり分配金（税込み）	60円	60円

## ◎今後の運用方針

### [野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド]

今後の運用につきましては、引き続きBB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、投資対象国は5～10カ国程度を基本とし、定期的に見直します。ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。

### [野村エマージング・ソブリン 円投資型1110]

[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○ 1口当たりの費用明細

(2019年4月25日～2019年10月24日)

項 目	第31期～第32期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 55	% 0.577	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(21)	(0.220)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
( 販 売 会 社 )	(31)	(0.330)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
( 受 託 会 社 )	( 3 )	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.006	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 0 )	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	56	0.583	
作成期間の平均基準価額は、9,503円です。			

\* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

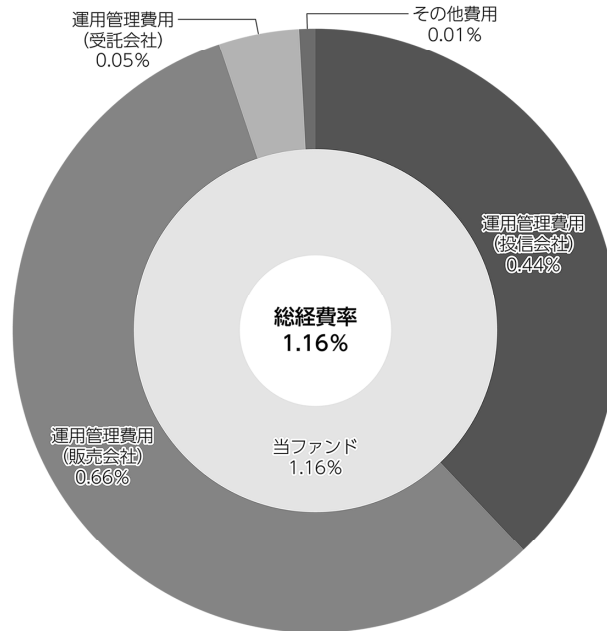
\* 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## (参考情報)

## ○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.16%です。



(注) 当ファンドの費用は1口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年4月25日～2019年10月24日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第31期～第32期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド	千口 157	千円 200	千口 51,722	千円 65,000

\* 単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年4月25日～2019年10月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年10月24日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	第30期末		第32期末	
	口数	金額	口数	評価額
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド	千口 532,825	千円 481,260	千口 481,260	千円 614,137

\* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2019年10月24日現在)

項目	第32期末	
	評価額	比率
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド	千円 614,137	% 98.9
コール・ローン等、その他	6,901	1.1
投資信託財産総額	621,038	100.0

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンドにおいて、第32期末における外貨建て純資産（28,547,813千円）の投資信託財産総額（28,953,962千円）に対する比率は98.6%です。

\* 外貨建て資産は、第32期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.68円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第31期末	第32期末
	2019年7月24日現在	2019年10月24日現在
	円	円
(A) 資産	645,186,279	621,038,510
コール・ローン等	7,116,269	6,901,383
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド(評価額)	637,070,010	614,137,127
未収入金	1,000,000	—
(B) 負債	6,779,737	5,655,383
未払収益分配金	4,024,440	3,870,240
未払解約金	956,400	—
未払信託報酬	1,795,433	1,781,718
未払利息	13	4
その他未払費用	3,451	3,421
(C) 純資産総額(A-B)	638,406,542	615,383,127
元本	670,740,000	645,040,000
次期繰越損益金	△ 32,333,458	△ 29,656,873
(D) 受益権総口数	67,074口	64,504口
1口当たり基準価額(C/D)	9,518円	9,540円

(注) 設定年月日2011年10月26日、設定元本額は5,821,960,000円、第31期首元本額は701,160,000円、当作成期末における元本残存率は11.0%、1口当たり純資産額は、第31期9,518円、第32期9,540円です。

## ○損益の状況

項 目	第31期	第32期
	2019年4月25日～ 2019年7月24日	2019年7月25日～ 2019年10月24日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 320	△ 218
支払利息	△ 320	△ 218
(B) 有価証券売買損益	6,687,048	6,551,970
売買益	6,687,048	6,551,970
(C) 有価証券評価差損益	13,503,918	815,147
(D) 信託報酬等	△ 1,829,905	△ 1,816,234
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	18,360,741	5,550,665
(F) 前期繰越損益金	△48,455,201	△32,333,458
(G) 解約差損益金	1,785,442	996,160
(H) 計(E+F+G)	△28,309,018	△25,786,633
(I) 収益分配金	△ 4,024,440	△ 3,870,240
次期繰越損益金(H+I)	△32,333,458	△29,656,873

\* 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○分配金のお知らせ

	第31期	第32期
1口当たり分配金(税込み)	60円	60円

○お知らせ

---

該当事項はございません。

# 野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド

## 運用報告書

第8期（決算日2019年10月24日）

作成対象期間（2018年10月25日～2019年10月24日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
主な投資対象	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行いません。株式への投資は、転換社債を転換したもの等に限りに、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純総資産額
		期騰	中率			
4期(2015年10月26日)	円 11,552		% 1.7	% 99.1	% -	百万円 74,359
5期(2016年10月24日)	12,303		6.5	98.7	-	50,939
6期(2017年10月24日)	12,510		1.7	98.9	-	40,402
7期(2018年10月24日)	11,761		△6.0	98.7	-	31,103
8期(2019年10月24日)	12,761		8.5	98.9	-	28,459

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

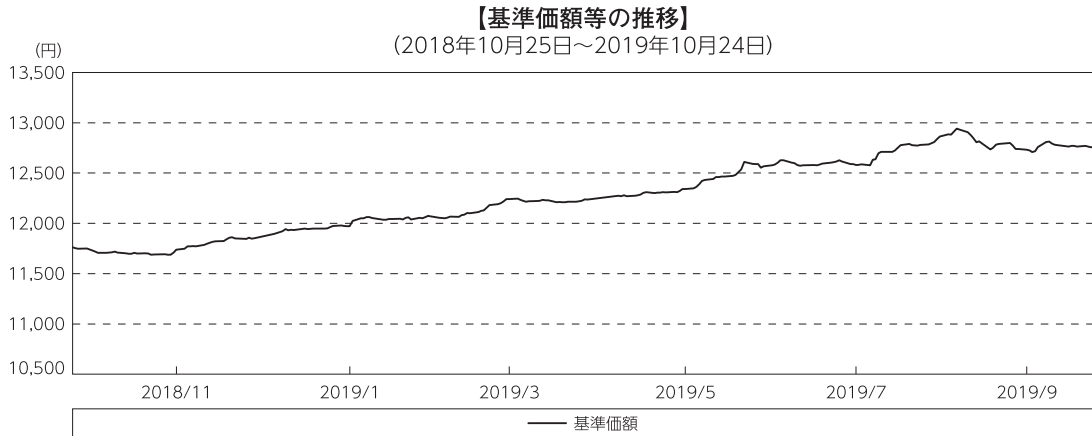
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落率			
(期首) 2018年10月24日	円 11,761		% -	% 98.7	% -	% -
10月末	11,730		△0.3	98.2	-	-
11月末	11,739		△0.2	97.8	-	-
12月末	11,853		0.8	96.8	-	-
2019年1月末	11,972		1.8	96.0	-	-
2月末	12,075		2.7	97.3	-	-
3月末	12,242		4.1	97.8	-	-
4月末	12,237		4.0	97.8	-	-
5月末	12,342		4.9	97.9	-	-
6月末	12,568		6.9	97.6	-	-
7月末	12,579		7.0	97.8	-	-
8月末	12,863		9.4	97.3	-	-
9月末	12,733		8.3	99.0	-	-
(期末) 2019年10月24日	12,761		8.5	98.9	-	-

\*騰落率は期首比です。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

#### \* 基準価額は、8.5%の上昇

基準価額は、期首11,761円から期末12,761円となりました。基準価額の上昇額は1,000円となりました。

(上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン（利息収入）。

(上昇) 保有していた債券の値上がり（キャピタルゲイン）。

### ○当ファンドのポートフォリオ

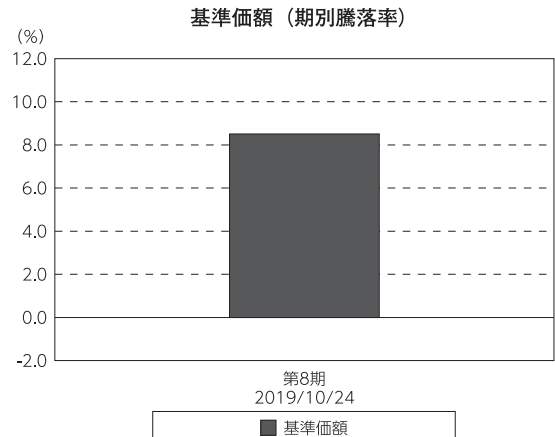
信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8カ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。当作成期首から2018年10月までは、ブラジル、インドネシア、マレーシア、ハンガリー、南アフリカ、メキシコ、フィリピン、コロンビアに投資を行いました。2018年11月中にマレーシアからポーランドへの投資国入れ替えを実施し、投資国をブラジル、インドネシア、ポーランド、ハンガリー、南アフリカ、メキシコ、フィリピン、コロンビアとしました。ポートフォリオのデュレーションは4～6年程度を維持しました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。

また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ○今後の運用方針

今後の運用につきましては、引き続きBB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、投資対象国は5～10カ国程度を基本とし、定期的に見直します。ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## ○1万口当たりの費用明細

(2018年10月25日～2019年10月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 1	% 0.010	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	1	0.010	
期中の平均基準価額は、12,244円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年10月25日～2019年10月24日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ		千米ドル	千米ドル
		国債証券	152,622	160,379
		特殊債券	—	43,397
		社債券（投資法人債券を含む）	18,231	—

\*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

\*単位未満は切り捨て。

\*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年10月25日～2019年10月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年10月24日現在)

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	236,000	258,971	28,145,046	98.9	24.9	74.7	24.2	—
合 計	236,000	258,971	28,145,046	98.9	24.9	74.7	24.2	—

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*S&amp;Pグローバル・レーティング、ムーディーズ・インベスターズ・サービスによる格付けを採用しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	COLOMBIA GLOBAL	8.125	25,800	31,927	3,469,908	2024/5/21	
	FED REPUBLIC OF BRAZIL	4.25	11,000	11,607	1,261,506	2025/1/7	
	FED REPUBLIC OF BRAZIL	4.5	20,000	20,950	2,276,846	2029/5/30	
	HUNGARY	5.375	6,000	6,586	715,786	2023/2/21	
	HUNGARY	5.375	22,000	24,822	2,697,724	2024/3/25	
	PHILIPPINES GLOBAL	3.0	26,000	27,215	2,957,728	2028/2/1	
	PHILIPPINES GLOBAL	7.75	3,600	5,376	584,330	2031/1/14	
	REPUBLIC OF INDONESIA	3.4	13,000	13,568	1,474,613	2029/9/18	
	REPUBLIC OF POLAND	3.25	30,600	32,691	3,552,963	2026/4/6	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	5.875	30,000	32,531	3,535,561	2030/6/22	
	UNITED MEXICAN STATES	3.75	18,000	18,670	2,029,109	2028/1/11	
	UNITED MEXICAN STATES	4.5	13,000	14,267	1,550,606	2029/4/22	
	普通社債券 (含む投資法人債券)	PERUSAHAAN LISTRIK NEGAR	4.125	8,000	8,400	912,912	2027/5/15
PERUSAHAAN LISTRIK NEGAR		5.45	9,000	10,355	1,125,449	2028/5/21	
合 計					28,145,046		

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2019年10月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 28,145,046	% 97.2
コール・ローン等、その他	808,916	2.8
投資信託財産総額	28,953,962	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建て純資産(28,547,813千円)の投資信託財産総額(28,953,962千円)に対する比率は98.6%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.68円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年10月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	56,715,916,488
コール・ローン等	448,557,401
公社債(評価額)	28,145,046,988
未収入金	27,761,954,314
未収利息	318,058,320
前払費用	42,299,465
(B) 負債	28,256,120,069
未払金	28,196,319,804
未払解約金	59,800,000
未払利息	265
(C) 純資産総額(A-B)	28,459,796,419
元本	22,302,703,817
次期繰越損益金	6,157,092,602
(D) 受益権総口数	22,302,703,817口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,761円

(注) 期首元本額は26,445,108,730円、期中追加設定元本額は7,192,349円、期中一部解約元本額は4,149,597,262円、1口当たり純資産額は1.2761円です。

## ○損益の状況 (2018年10月25日～2019年10月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,259,893,458
受取利息	1,260,083,686
支払利息	△ 190,228
(B) 有価証券売買損益	1,184,417,888
売買益	4,177,313,439
売買損	△2,992,895,551
(C) 保管費用等	△ 2,949,130
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,441,362,216
(E) 前期繰越損益金	4,657,925,473
(F) 追加信託差損益金	1,707,651
(G) 解約差損益金	△ 943,902,738
(H) 計(D+E+F+G)	6,157,092,602
次期繰越損益金(H)	6,157,092,602

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村エマージング・ソブリン 円投資型1210	5,897,998,921
野村エマージング・ソブリン 円投資型1211	5,608,686,491
野村エマージング・ソブリン 円投資型1212	3,795,528,970
野村エマージング・ソブリン 円投資型1208	3,529,715,140
野村エマージング・ソブリン 円投資型1301	1,838,075,839
野村エマージング・ソブリン 円投資型1110	481,260,973
野村エマージング・ソブリン 円投資型1302	358,019,468
野村エマージング・ソブリン 円投資型1205	298,484,550
野村エマージング・ソブリン 円投資型1111	268,370,169
野村エマージング・ソブリン 円投資型1203	148,846,693
野村エマージング・ソブリン 円投資型1303	77,716,603

## ○お知らせ

信用リスク集中回避のための投資制限の例外の規定に関する所要の約款変更を行いました。  
 <変更適用日：2018年11月14日>

### <お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2019年10月24日現在)

年 月	日
2019年10月	-
11月	11、28
12月	25、26

※2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意ください。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。